

平成 29 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録

日時：第 56 回日本臨床細胞学会（秋期大会）

2017 年 11 月 17 日（金曜日） 15:00～16:00

場所：ホテルオークラ福岡 3F メイフェア

【役員出席者】

出席：【会長】伊藤 仁【副会長2】小松 京子，三宅 真司【幹事】平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，原田 仁稔，河原 明彦，阿部 英二，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，山城 篤，遠藤 浩之，竹中 明美，今枝 義博，安達 博成，有田 茂実，石井 保吉，及川 洋恵，柿沼 廣邦，加戸 伸明，小山 芳徳，笹井 伸哉，渋谷 康雄，棚田 諭，土田 秀，田路 英作，野崎 正行，畠 榮，服部 学，羽原 利幸，深澤 政勝，藤井 和晃，松本 慎二，丸川 活司，三浦 弘守，山本 秀巨，横山 俊朗【監事】上野 喜三郎，片岡 秀夫

会の成立：役員 47 名中 41 名出席，委任状提出 6 名，仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：役員会運営に関する細則第 6 条により，平田総務委員長を選任

議事録作成：庶務委員会（井上，石堂）

議事録署名人：伊藤会長，上野監事

I. 会長挨拶

最初の役員会で事前に議案書配布がされている。1 時間の会議を速やかに進めて頂きたい。

II. 議事録確認

平成 28 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録，平成 28 年度細胞検査士会総議事録を確認した。
議長 平田総務委員長

これまで議案書の作成に当たって委員長以外からの議案提出はなかった。議案はメーリングリストからいつでも提案していただき，会長承認後，役員会議案とする。議案は役員会の議決が必要な事項で，そのほかの議題は報告，確認，検討事項である。

III. 報告事項

1. 物故会員：仲村庶務委員長が氏名を朗読し，出席者全員で黙祷を捧げた。
平田 守男 様（CT0001）
比嘉 美香 様（CT8200）
2. 議案書 IV 報告事項のように報告があった。

IV. 議案

なし

V. 確認・検討事項

1. 精度保障委員会活動方針について
 - 1) 教育セミナー セルフアセスメントのスライド貸し出しは中止
 - 2) 今年度のスライドは情報委員会に提供し，今年中に UP 予定
 - 3) 標本作成法について役員対象にアンケートを実施予定
 - 4) 細胞診ワークショップについて来年は 4，5 月に弘前で実施予定
 - 5) 生涯教育計画：有資格者対象・100 例鏡見・神戸大学で検討中

2. 50 周年事業について

南部国際委員長：一般市民向けの細胞検査士展示会，パネル 7 枚を用い行う。また口腔粘膜を擦過し，迅速染色して観察するコーナーを設ける。子宮がん検診など「痛い」など侵襲性の少ない検査である事を知っていただくことを目的とする。細胞検査士ががんを見つけるプロフェッショナルである事を知っていただくためのがんの写真とバーチャルスライドを用意し，一般の方にも実際に探していただくものを考えている。細胞検査士リーフレット，がん検診委員会リーフレット，細胞検査士会の名前の入ったポケットティッシュを配布予定。日曜日に市民公開講座のパンフレットも配布する。

古田学術委員長：19 日曜日に市民公開講座は学会と本会と共同開催で進めてきた。パンフレットにあるように女性特有のがんをテーマに行う。会場が少し離れたサンパレスで開催するので、参加人数が見込めない可能性がある。お時間のある方は参加願いたい。

三宅 50 周年記念事業実行委員長：市民公開講座と細胞検査士要望教育シンポジウム の開催時間が重なっているため、ご配慮願いたい。

阿部編集委員長：式典、祝賀会について式次第、来賓紹介を行った。

祝辞：自見はなこ参議院議員、宮島喜文参議院議員、大森徹福岡県保険医療介護部長、青木大輔日本臨床細胞学会理事長、長村義之国際細胞学会理事長

来賓紹介：安井弥日本病理学会副理事長、加来恒尋第 56 回日本臨床細胞学会秋期大会学術集会長、佐々木寛日本臨床細胞学会前理事長、土屋真一日本臨床細胞学会専門医会前会長

功労賞表彰：全国 84 名

祝賀会：福岡サンパレスで開催

3. その他

藤井幹事：議案と確認検討事項は別であり、メールでということですが、議案はメーリングリストで全員に送るのか？伊藤会長のみを送るのか？確認検討事項についても議案との違いは議決が必要か否かですが、その区別はどのように考えたらよいのか？その提案方法、提出期限を具体的に教えほしい。

平田総務委員長：各委員会から出る議案が第一。各幹事個人から出る議案に関してメーリングリストにて提案してほしい。委員会関係は各委員長が提出。施行細則のように総会で承認が必要な事、役員会の細則など役員会で承認が必要な事は議案とし、規則で決まっていないそれ以外は確認検討事項になる。

<報告事項に関する発言>

渉外委員会

仲村庶務委員長：2 ページ5) 細胞検査士パンフレットの配布 7 施設に郵送したとはどのような施設に配布したのか？

河原渉外委員長：基本的には大学関係に配布した。50 周年事業に関することが入っており、九州、中四国、大阪、神奈川の臨床検査技師学科がある大学に配布をした。

編集委員会

阿部編集委員長：50 周年事業の特集を組むため 1 月発行に変更する。

石井幹事：何部発行するのか後ほど教えてほしい。

学術委員会・国際委員会

伊藤会長：2018 年 2 月 24、25 日第 1 回第 2 回細胞検査士ワークショップと日・台・韓細胞検査士合同セミナーの日程が重なっている事をお詫びすると共に主催者として担当委員会は重複しないよう配慮してほしい。

あり方委員会

平田総務委員長：内容が精度保証委員会と重複しているところがあるので協力して進めてほしい。

がん検診委員会

今枝がん検診委員長：細胞検査士展で配布するリーフレットとポスターを完成させた。

山本幹事：がん検診委員会は名前が変わっただけが事業報告か？

今枝がん検診委員会：がん検診に関する啓発活動準備を行った。今後、メンバーの確定と予算を申請し進めていく。

50 周年記念事業委員会

The medical & Test Journal (株式会社じほう出版) という臨床検査の機関誌に、50 周年記念

の特集企画を掲載した。400部程度を、無料で19日の記念式典会場入口で配布予定。皆さんも手に取って内容を読んでほしい。

〈確認・検討事項 精度保障委員会活動方針に関する発言〉

小松副会長：症例の提供の際、同意を取得していても他施設において「〇〇病院 〇〇〇〇提供」と表記されもし報酬を得た場合、問題になる。症例提示の際、1症例では問題にはならないが複数症例を提示するとなると倫理委員会の申請が必要になっている。ホームページで出す際には各施設で十分にご検討願いたい。病理学会が発展途上国用に作成した症例スライドがゲームソフト会社に勝手にダウンロードされゲームソフトとして販売し、裁判になった事案があった。勝手にダウンロードできないような工夫を加工することは可能か？

小川情報委員長：透かしを入れるなどの検討は情報委員会でも行ったが現時点では難しい。

平田総務委員長：精度保証はこれまで資格のない方を対象に行ってきたがこれからは有資格者の初心者に対しても行ってくとのこと。学術委員会と重複するのでは？

古田学術委員長：若干、重なるところがある。

竹中精度保証委員長：学術的ではなく養成ワークショップで使用した教材ですので広く浅くの意味。

平田総務委員長：すみわけをしっかりと行っていただきたい。

伊藤会長：無資格者だけで埋まってしまう様ではプラス資格者では大変では？

竹中精度保証委員長：まずは有資格者を優先し、定員に達しなければとるようにしている。以前、養成ワークショップで定員割れが発生したときは有資格者の参加を認めた。

伊藤会長：今年は二次試験受験者が非常に多く580人が受験する。そのため朝昼晩と3クール2日間行う。受験者が増えたのか去年からの影響か？増加しているのは確かだ。仕事量の兼ね合いから学術と精度保証を分けて初級コースを作るのはいかがか？

竹中精度保証委員長：このようなワークショップをする目的は教材作成に大変な労力を費やしている。2回で終了するのではなく、もう少し開催したいとの思いもあり、学術的に行うものではない。

古田学術委員長：学術委員会は細胞検査士が対象です。問題視していない。

山本幹事：資格を持っていない人に対象ということは非会員である。検査士会の事業を非会員に対して行うことになる。公益事業として行うということか？

平田総務委員長：公益事業として行なう。子宮の日などと同様。

山本幹事：費用はどこから捻出するのか？

竹中精度保証委員長：参加費を徴収している。赤字ではない。

伊藤会長：細胞検査士を養成することは我々の責務でもあり、積極的に行うべき。